

科目名称：	社会福祉	
担当者名：	鴨野 直敏	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>社会福祉は、他の社会的制度・施策と同様に歴史的・社会的所産である。保育とは一見、関係ないように思えるが、保育士を目指す学生にとって、社会福祉は乳児、子どもから健常者、障害児・者、高齢者まですべての人の一生・人生に大きく関係する科目である。本講義では、保育士にとって社会福祉を学ぶことは必要不可欠であることを学生に理解してもらい、各制度・施策、法律を学習して活用できることを目的とする。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>社会福祉の歴史から制度・施策、法律に関するまで幅広い知識を身に付けて、それを活用できるだけの能力・技術を涵養することを目標とする。今日の社会で、保育士として必要な価値・知識・技術を身につけることを到達点とする。</p>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	○
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)		70		30	100
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 精神保健福祉士	《経験年数1》 3年
	《内容2》 社会福祉士	《経験年数2》 4年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 はじめに。保育における社会福祉とは何かを学生間で議論し、具体的内容として発表する。そして討論する。	保育士にとっての社会福祉を学ぶ意義についてレポートにしておく。	20分
第2回 社会福祉の理念と概念について、それを言葉で言い表せるようにグループワークして討論する。	子どもの幸せを支える社会福祉と保育内容について自分なりに考えレポートにする。	30分
第3回 社会福祉の歴史の変遷について、そこから今日的課題を持論として言い表せるように学生間でディスカッションする。	社会福祉の歴史的背景と変遷について教科書を中心に読み込みレポートにしておく。	30分
第4回 社会福祉の法律・制度について学びそれを自分のものとして体得できるように学生間でディスカッションする。	事後学習として学習した法律・制度の具体的な運用方法についてレポートにしておく。	30分
第5回 我が国における今日的課題について学び、社会保障を中心とした制度について学生間でディスカッションする。	女性と子どもの貧困を中心にどのような社会的問題があるかネットより検索しておく。	30分
第6回 子どもと家庭の福祉について、今日の問題と施策について理解できるようにグループワークする①。	虐待の種類と割合、女性の社会進出・晩婚化による社会的諸問題についてネットより検索しておく。	30分
第7回 子どもと家庭の福祉について、今日の問題と施策について理解できるようにグループワークする②。	虐待問題、DV、核家族化、未婚化を中心とした現代社会問題についてネットより検索しておく。	30分
第8回 小テスト実施。児童福祉施設とその種別、対象について理解できるように学生間でディスカッションする。	福祉事務所と児童家庭福祉の仕組み、家庭児童相談室の機能についてネットより検索しておく。	30分
第9回 障害児・者福祉と保育について学生間で議論し今日的課題を抽出する。保育における障害とは何か言葉で表す。	障害の種類と程度についてどのようなものがあるのかネットより検索しておく。	30分
第10回 障害児・者福祉の法律と制度について学び自分のものとして活用できるようにグループワークする。	ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョンとは何かネットより検索しておく。	30分
第11回 ソーシャルワーク(相談援助)と保育についてその関係性を学び保育士における相談援助の重要性を議論する。	保育における相談援助とは何かについて持論を展開できるようにレポートにしておく。	30分
第12回 地域福祉と保育について学び地域包括ケアシステムにおける保育士の役割を学生間でディスカッションする。	地域包括ケアシステムとは何かネットより検索。我が事、丸ごとについて調べておく。	50分
第13回 社会福祉における生活支援について。低所得層に対する支援について諸施策・法律を学生間で議論する。	生活保護制度、生活困窮者自立支援法についてネットより検索しておく。	50分
第14回 高齢者福祉と保育士との関係性について学び、諸制度の活用方法について学生間でディスカッションする。	介護保険制度と保育士との相関関係についてレポートにしておく。	30分
第15回 まとめ、小テスト実施。	保育における社会福祉とは何かを言葉で言い表せるように具現化しレポートにしておく。	20分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修は調べたことなどまとめておく。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業への積極的関与・授業内での発表および質問等30点・小テスト2回70点、計100点満点で評価する。

課題に対するフィードバック

小テストは、2回とも返却する。コメントカードに対しては、次の授業時に適切にお答えする。

教科書・参考書

教科書：図解で学ぶ保育 社会福祉(萌文書林)
参考書：初めての社会福祉(学文社)